

■ 64 bit 版 **SL-GMS C++/Developer V7.2a** で、 **Red Hat Enterprise Linux 9** に対応したバージョンを追加リリース

制御システム (DCS/SCADA) のダイナミック GUI と固有のカスタムエディタの開発で、
1980 年代より進化し続けてきたロングセラー

2025年5月20日 ニュースリリースより

SL ジャパンは、監視制御システム (DCS/SCADA) を専門とするダイナミック GUI/HMI と固有のカスタムエディタ開発ツールとして長年の実績を誇る SL-GMS の 64 bit 版 C++/Developer V7.2a で、Red Hat Enterprise Linux 9 をサポート追加してリリースしました。

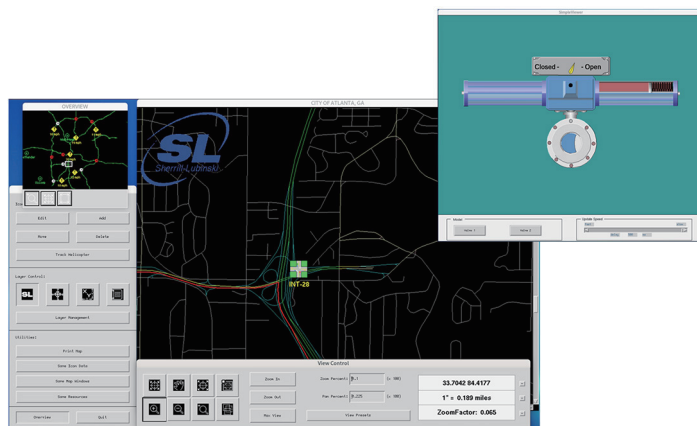
現在 Windows 版と Linux 版を提供している SL-GMS C++/Developer は、UNIX 全盛期を迎えようとしていた 1980 年代来のロングセラー製品で、プロセス制御、ネットワーク管理、交通管制、宇宙・防衛などの分野における世界で何万ものミッションクリティカルな監視制御システムで稼働してきました。

SL-GMSDraw ダイナミックグラフィックエディタを使い、それぞれのアプリケーションから独立して、高対話性の高性能なグラフィック操作画面を対話的に作成でき、しきい値による警報色、タンク内の水位変動、機器の入/切などの動的振舞いを、すぐにプレビューして確認できます。開発されたグラフィック操作画面を異なるフレームワーク間 (C++, Java, .NET Framework, HTML5, .NET 8) で再利用できる SL-GMS は、ライフサイクルが 10 年前後におよぶ監視制御システムの更改を長年にわたって支援してきました。

さらに、SL-GMS C++/Developer で開発されたグラフィック操作画面は、2020 年 9 月にリリースされた SL-GMS Web/Developer (HTML5) によって、比類なくコンパクトで高速な HTML5 コードに変換でき、Web ブラウザで運用できるようになりました。

☆ニュースリリース全文はこちら:

https://www.sl-j.co.jp/newsevents/newsrelease/2025/sl_j_news_250520.shtml



Linux で稼働する交通管制デモ (左) とバルブ開閉デモ (右)

SL-GMS J/Developer (Java) 新バージョン 4.7a をリリース

監視制御システムのコンテンツリッチな Java GUI アプリケーションとリモートデスクトップ Web アクセスで高速に運用開発

2025年1月20日 ニュースリリースより

SL ジャパンは、Java 版の SL-GMS J/Developer 新バージョン 4.7a をリリース、Java 21 と Windows Server 2025 を追加サポートしました。

1998 年にリリースされた SL-GMS J/Developer (Java) では、他 SL-GMS 製品と同様、SL-GMSDraw エディタを使って、監視制御システムのダイナミックグラフィック画面を対話的に作成します。そして、SL 社の突出した描画技術とコード生成技術をベースに、コードジェネレータで桁違いにコンパクトで高速な Java コードに変換でき、長年追従を引き離してきました。

デスクトップアプリケーション運用で開発した高対話性かつ高性能なダイナミックグラフィック画面は、そのまま変更することなく、リモートデスクトップ Web アクセスで運用でき、ローカル運用と同等の高い性能で、異種 OS パソコンの他、スマートフォンやタブレットなど幅広い端末からアクセスして操作できます。



地図上で環境監視している Java アプリケーションをリモートデスクトップで高速に運用し、モバイル (Android) からアクセス操作

☆ニュースリリース全文はこちら: https://www.sl-j.co.jp/newsevents/newsrelease/2025/sl_j_news_250120.shtml

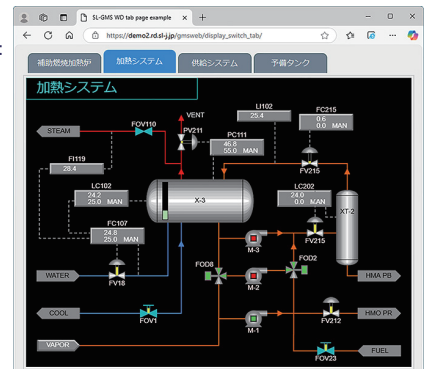
さまざまな構築技法と機能活用で役立つ豊富な技術資料を、定期的に追加発行

SL-GMS ドキュメンテーションサイトでは、全 SL-GMS (C++, Java, .NET Framework, HTML5, .NET 8) 製品の日本語版マニュアル(リリースノート、ユーザーズガイド、リファレンスなど)の他、各種チュートリアルとサンプルプログラムをダウンロードできます。また、さまざまな構築技法と機能活用で参考にしていただける豊富な技術資料をそれぞれすぐに使えるサンプルコードとともに、年3回の Newsletter 発行のタイミングで定期的に追加しています。

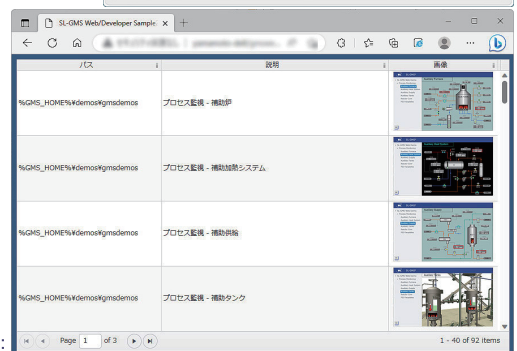
以下、直近5年分のみをご紹介します：

- SL-GMS Web/Developer の音声ツールチップ (2025年5月)
- SL-GMS Web/Developer タブによる画面の切り替え方法 (2025年1月) ... **右上画面**
- 組込みグリッドコントロールの実装 (2024年9月)
- SL-GMS Developer for .NET ViewExtent の保存 (2024年5月)
- 非矩形ビューの作成 (2024年1月) ■ ビュー領域の変化を知る方法 (2023年9月)
- SL-GMS Web/Developer のテーブルに画像を表示する (2023年5月) ... **右下画面**
- upgrade-assistant を使った SL-GMS .NX/Developer への移行例 (2023年1月)
- SL-GMS Developer for .NET におけるパスワードフィールドの作り方 (2022年9月)
- SL-GMS C++/Developer におけるパスワードフィールドの作り方 (2022年5月)
- SL-GMS Web/Developer と外部レイアウトライブラリとの組み合わせ (2022年1月)
- SL-GMS Developer for .NET のカラーテーブルについて (2021年9月)
- SL-GMS Custom Editor for .NET によるユーザ向けグラフィックエディタの開発 (2021年5月)
- SL-GMS Developer for .NET と C++/Developer における、モデルの変数とオブジェクトの数をカウントする方法 (2021年1月)
- SL-GMS Web/Developer (HTML5) 新製品の概要 (2020年9月)
- SL-GMS のモデルヘッダについて (2020年5月)

タブによる
画面の切り替え：



テーブルに
画面を表示：



SL ジャパン設立記念日で振替休業のご案内

SL ジャパンは、2025年6月5日に設立27周年を迎えます。これもひとえに、これまでご支援くださいましたお客様ならびにお取引先様のおかげと、心よりお礼申し上げます。

目まぐるしく変わってきた ICT (情報通信技術)、米国におけるインフレと価格上昇、円高から急激な円安と、弊社を取り巻く環境は激動してきましたが、SL ソフトウェアを使って開発されるお客様の適用システムのライフサイクルが10年前後である中、持続可能な事業を第一に運営してまいりました。

米国 SL (Sherrill-Lubinski) は、1983 年以来40年以上にわたって、リアルタイムデータのグラフィックな可視化と監視に全力を注いできた専門メーカーです。

日本では1991年に代理店販売を通じて創業して以来、SL の可視化とエディタ技術は大手各社様の DCS/SCADA 製品やソリューションに組み込まれ、浄水場・焼却炉、発電所・変電所、空港・鉄道・道路、宇宙・防衛、工場・ビル、オペレーション/データセンターなど、さまざまな暮らしの身近なところで日々稼働し続けてきました。

そして震災の 2011 年以来、毎年利益の一部から日本赤十字社への寄付活動を長年続けています。

創立 100 周年以上のお客様が多い中で、まだまだ若年ではありますが、引き続き業務に一所懸命取り組んでまいりますので、より一層のお引き立て、ご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

☆設立記念日で振替休業のご案内：2025年6月6日(金)



株式会社 SL ジャパン

〒107-0061 東京都港区北青山2-12-8 BIZ SMART 青山
Tel. 03-3423-6051 info@sl-j.co.jp **www.sl-j.co.jp**

Real-Time Visibility

年3回発行 2025年5月26日発行 通巻81号

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。